



ハルナの教育方針

- ・感謝の心を育てる心の教育・ボランティア教育
- ・たくましい脳を育てる右脳教育
- ・常勤外国人教師による日々の英語教育

祝！成人



ハルナ幼稚園では、毎年成人式を迎えられる卒園児のみなさんに成人のお祝いのお手紙を送り、記念品と少しばかりのお祝いをお渡ししています。今年も幼稚園64名の卒園児が成人式を迎えられ沢山の懐かしいお友達からお返事を頂きました。又、成人式後数名の卒園児が幼稚園へ遊びに来てくれたり、数日後に数人で電話してくれたり、懐かしい話にも花が咲きました。

畝傍高校で3年弓道部に所属していました。大学でも弓道部に入部しました。

Kくん 大阪医科大学 医学部

小学生から中学生にかけて、医師になりたいと思うようになり、医学部を目指していました。コロナウィルスの影響で部活動はできていないのですが、再開したら、スポーツや音楽をする予定です。

Tさん 奈良県立医科大学 医学部

大学はオンライン授業となっています。いまは自動車学校に通っています。

Yくん 大阪工業大学 工学部

高校で3年間アメフトを続け、現在もアメフト部に所属しています。1年生から試合で使っていました。来シーズンに向けての取り組みをチームで行っています。

Sくん 大阪府立大学 現代システム科学域

公認会計士の資格取得に向けて勉強をしています。自分なりのペースで、目標を掲げて一步一步前進しています。ハルナの生活から学んだ日々の習慣が今も身についていると感じています。

Yくん 簿記一級合格

今、プログラム言語の勉強を頑張っています。

Aくん 関西大学 システム理工学部

幼稚園では日舞を踊ったこと、流しそうめんが楽しかったこと覚えてます。大学では国際系学部で異文化について勉強しています。

Iさん 甲南女子大学 文学部

大学生活を楽しんでいます。

Kさん 龍谷大学 文学部

幼稚園で覚えていることは裸足で運動会をしたこととアイスクリンを食べたこと。今はオンライン授業中心の生活をしています。

Tさん 龍谷大学 経営学部

就職が決まって春からJR東海の新幹線パーサーで働きます。

Iさん 大手前短期大学 ファッションデザイン

コロナでオンライン授業頑張ってます。

Aくん 京都工芸繊維大学 工芸科学部電子システム学科

幼稚園の思い出は日舞のせせらぎ踊ったこと、ミッキーマウスマーチを演奏したこと、盆踊りをしたことなどです。今はほぼ毎日バイトしています。

Nさん 立命館大学 産業社会学部

成人式はお母さんの着物で参加しました。

Oさん 京都女子大学 法学部

理学療法士を目指しています。

Kくん 関西福祉科学大学 保健医療学部リハビリST専攻

看護師になるために勉強中です。課題やテストがたくさんあって大変ですが、クラスの友達や学校の先生方に支えられ、毎日楽しくしています。

Yさん 奈良県医師会看護専門学校 看護科

コロナで、前期オンライン授業になりました。後期もほぼオンライン授業で大学へ通学できました。早く落ち着き、普通の日常生活に戻ってほしいと思っています。

Sさん 福井大学 工学部

幼稚園の時の記憶は、日舞が楽しかったこと、キューティーハニーを踊ったこと、お誕生日を祝う会をしたことなどです。幼稚園でシンセを弾いたことがきっかけで、小学校から高校までピアノを習って、中高ではコーラス部、大学ではアカペラサークルに入っており、ずっと音楽に係わり続けています。

Tさん 神戸大学 農学部

アルバイトと塾の講師を頑張っています。

Oくん 関西大学 文学部



令和三年一月十一日(祝)

各地域の成人式後、集まってくれました。

ハルナ新聞



発行日

令和3年2月1日

香芝市上中1176-1

ハルナ幼稚園

担当 森川怜美

今月のしつけ
よばれたら
元気よく
返事はすぐに

園長先生からのおてがみ

寒い毎日が続いています。お母さま方にとっては、洗濯した衣類を干したり、お買い物をしたりと外に出ないと進まない家事が沢山ありますので極寒の中ご苦労されていることと存じます。そして、このコロナ禍の中では一つ一つの家事やお仕事の流れるように出来ないところも更に負担を感じておられるのではないのでしょうか。毎日本当にご苦労様です。園児達は、いろいろと制約がありながらも、発表するおゆうぎの練習に活気が溢れているところです。最初は、先生の振りを一つ一つ見ながらであったのが、段々と動きが身についてきて考えなくても手や足、身体が動き楽しくなっています。「〇〇君、手のあげ方きれい!」「〇〇ちゃん、本当の鶴さんみたい!」と沢山の先生から声をかけてもらうと「そうでしょ。」と言わんばかりの誇らしげな顔を見せてくれます。最初は出来なかったことも、先生のお話を聴き友達と一緒にしている間に気が付いたらできるようになっていた。その成り立ちを会得し他の色々なことにも挑戦する心を身に付けてほしいと思っています。

最近、あまり本を読んでいなかったのですが、母が私の幼いころから本を読むことをよく褒めてくれていたことを改めて思い出しました。こんな本だったと言う話をよく聴いてくれていましたので、習慣を取り戻さないといい本を選びました。

「スマホ脳」アンデシュ・ハンセン著です。作者は精神科医でノーベル生理学医学賞の選考委員会もあるカロリンスカ研究所で医学を学び 2000 本もの論文を発表されている方です。スウェーデンでは最も影響力の高い精神科医と言われ今回の「スマホ脳」という著書も世界的ベストセラーとなっているようです。

ただ単にスマホを使っていたらだめですよという本ではなく、どのような悪影響があるかをよく知った上でデジタル社会に参加しなければいけないということが書いてある本です。この本を読むとそもそもスマホを作るために開発された方々はスマホには常習性、中毒性があることがわかりながら開発をしていたという事実が驚愕します。スティーブジョブズが我が子にスクリーンタイムを1日30分に制限していた、ビルゲイツは自分の子供に14歳になるまでスマホを触らせなかったという話は有名ですが、開発の時から脳の報酬系を活性化する恐ろしい力があることは既に解っていたということです。若者が特に依存症になるリスクが高く、アルコール依存症、ギャンブル中毒症と同じリスクであると言われています。今2歳児の半数以上がスマホで動画を見る習慣があり、7歳児では毎日使用しているという事実は限りなく依存症を作る方向に導かれていると言われています。又スウェーデンの16歳以上の大人の9人に1人は抗うつ剤を服用しておられる方がいる、又ここ10年でその数字は躍進的に増えてきた、その陰にはスマホSNSの躍進的普及率との因果関係がないとは言い難いと言っていました。著者自身も「そう言いながらも、スマホをチェックしたりする自分がいる。既に私達の生活欠かせないものになってしまっていることは十分承知の上であるが、スマホに人生を操られないようにはしなければならない」と書かれていました。

これからはデジタル社会、ICT教育の時代に古いことをと思われる保護者様もいらっしゃるかと思います。又多くの保護者様がPCやスクリーンタイムのあるお仕事をされているのにも関わらず申し訳ありません。けれども、一度は保護者の皆様も長い間スマホを使っていたわ、子どものスクリーンタイムが長すぎたと思われたこともあるのではないのでしょうか。著書の巻末にはデジタル時代のアドバイスとして、依存症にならないためのアドバイスが書かれています。

子どもには、「スクリーンタイムを制限し代わりに別のことをしよう」「大人が良いお手本になろう」と書いてあります。特に一番子供のそばにいたこと多い大人やはりお母さんでしょうか。ポケットではなくカバンの奥のほうにスマホを入れて、出来るだけ子供たちの目に触れないところに置いておきましょう。「お母さんのものは私のもの」の感覚が子供にはどうしてもあります。

時々、病院や役所の待合、お買い物の時に子供にせがまれてお母さんがスマホを渡している光景を見ることがあります。中にはカバンの中にあることを知っている子供が「ない」と言われて興奮していることも見たことがあります。ただ見たがって我儘を言っているのではなくスマホの持つ常習性から引き起こされたことだとしたら、子どもがスマホの犠牲者となってしまいます。そんなことにならないように、違うことをしましょう。園児が園でスマホを見せてほしいとせがむことはありません。違うことであることがいっぱいあるからです。お家でもお出かけでも退屈な時にすることはいっぱいあります。好きな絵本、クイズ、好きなものの言い合いっこ、親指相撲、お家へ帰ったら何をしようか、大きくなったら何になろうか妄想ごっこ、看板読み、そういえば私の小さいときはよく車の中で歌を歌いました。母や姉の歌の上手さに感服しながらも必死で二部合唱をつられずに歌う遊びをしていました。それから、車のナンバーを足し算するゲームもよくしていました。それは姉にも勝てるゲームでした。

昭和感のあるお話ですいません。この間お迎えのお母さんと少しお話していたら『「園長先生、昭和やわ～」と思っているでしょ』と言うと、『いえそれがいいんです、もっと言ってください』と言われ、ちょっと調子に乗ってしまいました。スマホ脳の本のお話は昭和ではありません。今とこれからの時代への警告です。時間があれば読んでいただきたい本です。

本の中に「集中力こそ現代社会の貴重品」と記されていますが、園児たちがおゆうぎを練習しているときの集中力には本当に感心します。全員がそのお遊戯の人になりきっている所作や動きに集中しています。指先に力を入れたり、手の先のほうを見る美しい動き、いつからそんな風にできるようになったのと思うほどです。先生の言葉、友達の応援、アナログなことでも十分園児の感覚が刺激を受けていることを感じます。園児がそれぞれに持つ力を引き出していけるように頑張りたいと思います。ありきたりな言葉でなく園児が「私、ほめられた!」と実感できるようなそんな言葉が発することができるよう努めたいと思います。

保護者の皆様には何かとこのコロナ禍の中、ご理解ご協力をいただいていますことに深く感謝しています。ありがとうございます。

★みんな大好き★絵本紹介

藤B組

かもとりごんべえ

みんなの声:かも達と一緒に空へ飛び、そこから続く
ごんべえさんの旅が面白いよ。



黄B組

つるのおんがえし

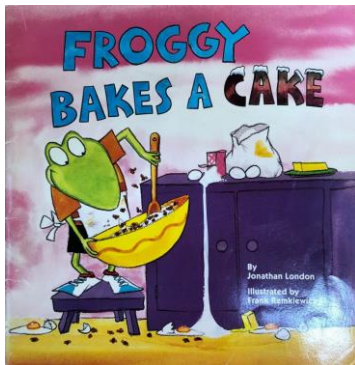
みんなの声:扉を開けると恩返しをしにきた
つるだったところがおどろいたよ。



イマージョン

Froggy bakes a cake

みんなの声:Froggy がサプライズでお母さんにケーキを焼いたので、自分
もどんなお手伝いができるかを話し合うのが楽しいよ。



藤組
「コマづくり」

黄組
「手作りカルタ製作」

イマージョン
「Who am I」

青組
「福笑い」

赤組
「福笑い」

お正月あそび

3学期が始まり、みんなでお正月あそびを行いました。
各クラス楽しく過ごしました。



空手昇級審査

12月2日(水)に空手の昇級審査を
行いました。見事合格した園児を紹介
します。おめでとうございます。
これからも頑張ってください。

3級(緑帯)

くん(小1)

6級(紫帯)

くん(小1)

くん(藤B)

くん(藤B)

くん(藤A)

さん(小4)



発表に向けて、子ども達も保護者様に見ていただくことを楽しみに毎日練習に励んでいます。おゆうぎ練習では踊る事と一緒にカウントを数えることも頑張っています。ただ「1・2・3・4」とカウントを言うだけでなく、「パッパッ」と手を左右に出したり、「グルグル」と言いながら腕を回すなど、オノマトペを使うことによって動作が機敏になったり感情もより表現できるようになります。各演目それぞれに子ども達もその役になりきって頑張っているのです。本番まで

オノマトペを使っています



お口の拭き方

ハルナ幼稚園ではお給食の際に口や口のまわりについた汚れを“まるく拭く”という事を子どもたちに指導しています。又、年少児以上（2月より赤組でも実施）ではティッシュ、年長児はナフキンを自分の近くに置き、口が汚れていることを自ら気づき、拭く練習を行っています。



すきノート大賞

11月7日（土）秋の参観（年少児以上）で親子製作として「すきノート」を作成しました。この“すきノート”は、詩人 谷川俊太郎さんの「すきノート」を参考に、園児と家族の方とのたくさんの「好き」を集めるために製作をしたノートです。将来、園児が大きくなったときに見返していただいたり、家族の方の“すき”があふれるノートになることでしょう。家族全員のたくさんの「すき」でうまっていくこのノートを宝物にしてほしいです。年少児から3年間使用しますので、各ご家庭で大切に保管して下さいね。



年長児のお友達

「おかあさんのつくろりょうりで いちばんすきなのはなにかな？ あいじょうたっぷりなおりょうりをはやくたべたいな。」

→ だいすきなオムライスをかいてくれました。
おかあさんのおりょうりはどれもおいしいですね。

年中児のお友達

「だいすきなおやつはなにかな？
どうしてすきかもおしえてほしいな」

→ すきなおやつとどうしてすきなのかもかいてくれました。とてもおいしそうですね。



年少児のお友達

「What rides do you like? What rides can you think of?」

→ のりものをたくさんかいてくれました。かぞくみんなでおかけするとたのしいですね。

年少児のお友達

「すきなやさいはなんですか？
おしえてほしいな。」

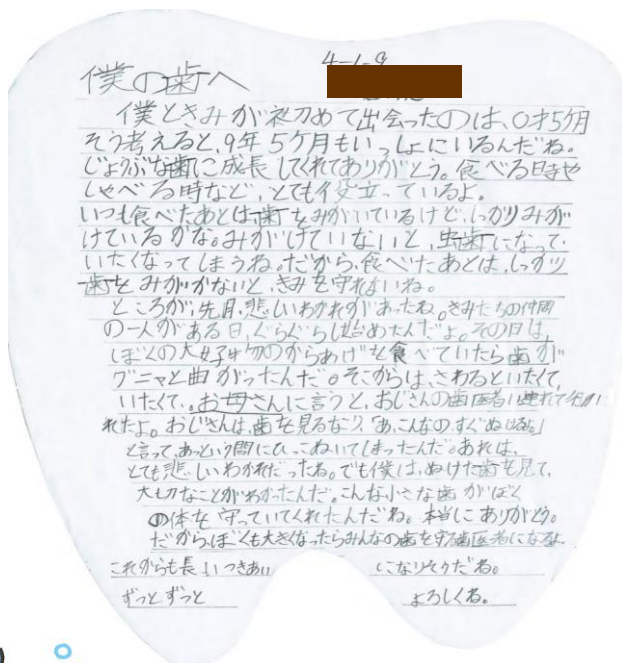
→ かぞくみんなのすきなおやさいをたくさんかいてくれました。どれもおいしそうですね。

夢をつかむ 卒園児のコーナー

平成28年度卒園児の土倉侑空くん(現在小学校4年生)が小学校から応募されたファミリーマートありがとうの手紙コンテストで29,429通の応募の中から最優秀作品賞(21作品)に選ばれました。

幼稚園の頃からありがとうカードを書いていたことを忘れずに卒園をしてからもいつもありがとうを見つけ、色々な人や物に対しても感謝をする心を大切にしてくれていました。みんなも侑空くんの様にこれからもたくさんのありがとうを見つけてくると先生達も嬉しいです。

侑空くん、おめでとうございます。



平成13年度卒園児の■■■■ちゃんが、先日遊びに来てくれました。■■■■ちゃんの幼稚園の頃は、お友達が泣いていたらもらいなさする程の優しい女の子で、先生のお手伝いもよくしてくれていました。藤組の時の担任は、現在の保育補助の小松先生で、小松先生も■■■■ちゃんのことをよく覚えておられました。幼稚園の藤組で茶道の体験をしてから、卒園してからも茶道を習い続けられ、学生時代の部活動でも茶道部に所属し、去年は大学で茶道部の部長も務められていたそうです。

幼稚園の頃から続けていた日舞は今少しお休みして、現在、浜松医科大学に通われていて、将来はお医者さんを目指されています。世界中がコロナ禍で苦しい中、■■■■ちゃんのような若い世代が夢に向かって頑張ってくれている姿を見ると、私達も勇気づけられます。自分が置かれた立場で成長していこうとする■■■■ちゃんから力をいただきました。いくつになっても自慢のハルナっ子を応援しています。■■■■ちゃん、夢に向かって頑張ってくださいね！！



シクラメンをいただきました

橿原神宮で神職に就かれています、卒園児のお父様からお声がけをいただき、沢山のシクラメンを戴きました。奈良県花き振興協議会様が、このコロナ禍の世の中を明るくしようという思いで育てられたシクラメンのお花です。トラックいっぱいシクラメンを幼稚園に飾ると、一変に園が明るくなりました。園児達も興味深々です。どんぐりにもおすそわけをしたら、どんぐりの入所者さんもお出かけしたみたいと喜んでくださいました。お花によって沢山の人の心が安らぎました。お父さんお母さんもお迎えの時、かわいいお花達を見て帰ってくださいね。



英語であそぼうビギナーズ通信

今回のテーマはテープ製作でした。カラーテープやマスキングテープを使い、クリスマスにちなんで、クリスマスツリーを作りました。クリスマス模様のツリーが出来上がり、早速家に飾りましたという声もきけました。次回のビギナーズも楽しみにしててくださいね。

次回のビギナーズ開催日
令和3年3月6日(土) ゆびの運動



福原先生のeye point<おゆうぎ会合奏>

今年の年長児が挑戦する合奏曲は、「BACK DRAFT」です。
 11月ごろから練習に取り組み、先日ホール練習で最終段階まで来ることができました。
 幼稚園、保育園合同でこの合奏は、総勢91名で挑戦します。合奏に挑戦する目的として、2つあげられます。1つは、園児達が長く世界に伝え続けられている、クラシック音楽や映画音楽に触れ、興味を持ち、世界を身近に音楽を楽しんでほしいということ。2つめは、難易度が高いことにより、簡単に手が届くことより、背伸びしてもなかなか届かない上の上にある目標に向かうことのできる人になってほしいという願いが込められています。それぞれのパート譜には、楽譜以外で注意することや、音楽の区切りにA～Lまでのアルファベットが記載されており、時々「Bから、シンセとマリンバで演奏してください」など指示を出すことがあります。すると、楽譜を見て確認をするとサッと園児達は演奏をすることが出来ます。
 時にはアルファベットではなく、曲の途中の「○○（メロディーを歌って）のところから」と伝えても準備をして待つ姿勢が見られます。園児の頭の中にはきっと、楽譜やメロディーが全て入っていて、どこからでも対応が出来るようになってきているのだと思います。私も100人規模のマーチングバンドに所属していたので、それらの事の難しさはよくわかります。大人でも出来ない人もいるのに、園児達の能力には感心します。また園児達に音楽の中のストーリーをどのように伝えたと分かりやすいかを研究しています。一つの音符を長めに演奏する時には、「川を渡るときの橋を繋ぎたいけど、みんなの演奏は、その橋が途中で崩れてしまっている」なめらかに演奏する時には、「川の水が流れているけど、その水が静かにゆっくり流れている」など、比喻で伝えていきます。最後の盛り上がるのころでは、「みんなの最大限の力を出してほしいところ。1番指揮をみて、1番強く叩く（吹く）、1番お客様に聞かせてあげてほしいところ」と伝えていきます。一曲の中でも、色んな表現をしている「BACK DRAFT」をお楽しみいただけたら嬉しいです。

学力テスト

対象者:小学1年生～中学3年生



<1年生>

- 1位
- 2位
- 3位

<2年生>

- 1位
- 2位

<3年生>

- 1位

吉田大希くんは約800人中、
 全国14位という見事な成績を
 収められました。

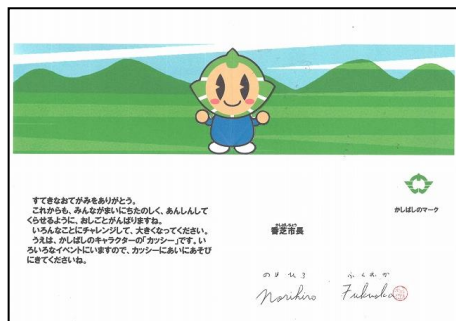
<4年生>

- 1位
- 2位
- 3位

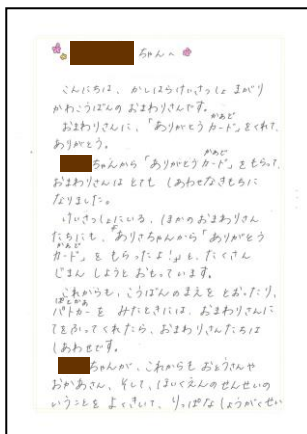
令和2年度の育伸社の学力テストの結果を発表致します。ハルナ塾(小学生学童保育)以外の卒園児の皆さんも受験してくれました。日々の勉強がどのくらい理解出来ているかを確かめるチャンスです。これからたくさんの力試しの参加を待っています。

勤労感謝の日によせて

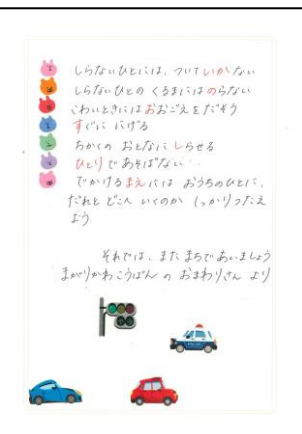
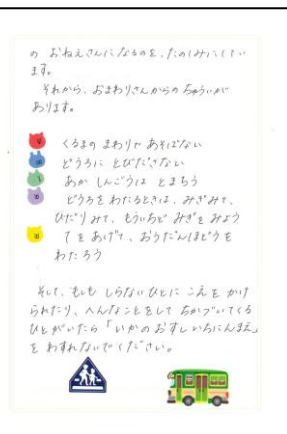
11月23日の勤労感謝の日によせて、年長児が自分達の身の回りで働いて下さっている人はどんな人達がいるかを話し合いました。国や県・市町村で私達の住みよい街づくりをして下さっている方、病院の先生や、沢山ののお店屋さんなど、様々な所で働いて下さっている方がいるから自分達の生活が出来るという事も理解してくれていました。11月23日の勤労感謝に合わせて相手様先に着くように郵送したところ、お礼のお電話やお手紙を頂きました。先月号に引き続きお返事を下さった皆様のご紹介をさせていただきます。



香芝市長様よりお手紙を頂きました。



福原警察署曲川交番様よりお手紙を頂きました。



その他に

かわしま内科・外科・こどもクリニック様

濱田純子様より お返事やお手紙を頂きました。

年長児のお友達

1月12日	月	6時00分	9時00分	雪
しでし	雪	おと	で	お
かすた	だ	か	が	そ
か	る	だ	と	か
た	と	ま	せ	て
で	け	て	を	ん
す	も	つ	せ	き
い	か	く	い	れ
く	わ	が	い	し
の	い	て	ち	で
が	か	く	い	し
さ	れ	さ	た	お
み	た	ま	な	そ
				た

文日記大賞

いつもみている
けしきもゆきがふ
ると、またちがって
みえてきれい
ですね。

クレヨンあそび大賞

満3歳児のお友達



あまくておい
しそうなサクラ
ンボをぬることが
できましたね。



年中児のお友達

折り紙チャンピオン!

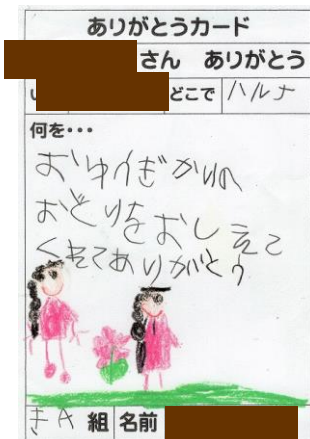
かどとかをあわせて
きれいにおることができ
アイロンもかけていつも
ていねいに作品をしあげて
くれています。

年少児のお友達

お血ピカピカチャンピオン!

きゅうしょくのときはおかず
やおこめをきれいに「あつまれ～」と
あつめることが
できますね。
おさがりピカピカに
なるとつくったひとも
うれしいとおもいますよ。

年中児のお友達



ありがとうカード大賞

おともだちといっ
しょにおどるとたの
しいですね。ほん
ばんにむけてがん
ばりましようね。

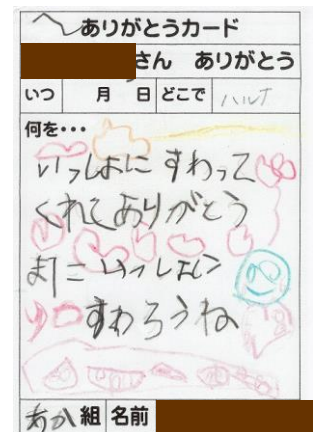
年少児のお友達



ありがとうカード大賞

バスのなかでも
たのしくすごして
いるのですね。
どんなおはなしを
したのかな。
またきかせてね!

満3歳児のお友達



ありがとうカード大賞

おかあさんといっ
しょにひらがなも
かいてくれました。
にっこりわらうおか
おのえがかわいいで
すね。

年長児のお友達 「ししまい」



ちからづよいおかおのし
しまいがことし1ねんよいとしに
なりそうなかんがします
ね。かどまつもていねいに
おることができました。

年少児のお友達 「ししまい」



かっこいいししまいができあがりま
したね。からくさもようはじょうず
にはじきえができましたね。

年中児のお友達 「Happy New Year」



We made the mochi and
orange with origami.
Your cow is very cute.

年少児のお友達 「ししまいとかどまつ」



おりがみでかどまつをつくり、
うれしそうにおのししまいが
かけました。えんぎがいいです
ね。

製作帳コーナー

クリスマスパーティー

●12/8(火)

各クラスが製作をした帽子はともかわいく仕上がりました。先生からのペープサートやダンス、マジックショー、オペレッタのプレゼントがあり、あっという間の一日でした。サンタさんが来てくれて、最後には数えきれない風船が舞い降りてきて、大喜びでした。



みんなの大掃除

●12/15(火)

お部屋やホール・廊下をみんなできれいにしました。また毎日使用しているおもちゃの消毒を行い、一つ一つ丁寧に拭いてくれました。きれいにお掃除をして新しい年を迎えることができましたね。

音研

●1/14(木)

年長児幼・保合同音楽指導

音楽指導の木野先生にペガサスホールで合奏の指導をしていただきました。心を一つにして一曲が完成するようにおゆうぎ会へ向けて保育園のお友達と一緒に頑張りたいと思います。

奈私幼PTA研修大会

●1/22(金)

どんぐり3階ホールでオンラインにてクラス委員のお母様が研修大会に参加しました。今回は絵の本研究家、加藤啓子先生の講演を聞かせていただき、様々な絵本の読み方を教えてもらいました。研修会で読んでいただいた絵本をさっそく取り寄せし、園児達と一緒に楽しみたいと思います。

英検

●1/23(土)

幼稚園と保育園合わせて計43人で5級～準2級を受けました。

“Are you ready for the test?”と聞くと“I am ready.”としっかりと準備した様子でした。受検中、真剣な表情でテスト用紙に書き込み、考えながら、答えを分かった時の表情がとても晴れやかでした。

HARUNAの あんなことこんなこと

バスティンピアノコンクール全国大会(名古屋)

「生涯にわたって音楽を愛し、楽しみ続けることができるように」という、ジェーン・バスティン先生の理念に基づいて開催されているピアノコンクールです。

大阪地区予選大会より進み、見事全国大会で入賞されました。大浦先生のご指導のもと、課外レッスンピアノ受講者が多く入賞されました。

＜入賞＞

年中児のお友達

年中児のお友達

皆さんおめでとうございます。これからも頑張ってください。

